

数学(系列選択)

科目名			
数学Ⅱ			
履修条件			
・数学Ⅰ、数学Aを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
4	2, 3	C, F, E, I	0円
定期試験(授業内を含む)の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	×	×	①⑧
<p>【紹介】 数学Ⅰで学習した内容を基礎として、「指数関数・対数関数・三角関数」のような新しい関数や「微分・積分」のような新しい概念・原理について学びます。その意味では高校数学の中核となる科目です。</p> <p>数学Ⅰ・Aより難易度が上がるため数学に前向きに取り組めることが望ましい。</p>			
<p>【履修上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年次に数学Ⅲを履修するには、2年次で数学Ⅱと数学Bを履修することが必要です。 ・3年次に数学Cを履修するには、2年次で数学Ⅱを履修することが必要です。 			

科目名			
数学B			
履修条件			
・数学Ⅰ、数学Aを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	E, G	0円
定期試験(授業内を含む)の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	×	×	①
<p>【紹介】 数学Ⅰ、数学Aで学習した内容を基礎として、確率に関わりのある「統計的な推測」や数の並びについて考察する「数列」について学びます。</p> <p>数学Ⅰ・Aより難易度が上がるため数学に前向きに取り組めることが望ましい。</p>			
<p>【履修上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年次に数学Ⅲを履修するには、2年次で数学Ⅱと数学Bを履修することが必要です。 ただし、3年次に数学Ⅲと数学Bの同時履修は可能です。 ・内容の特性上、数学Ⅱと同時に履修することを強く勧めます。 			

数学

科目名			
数学 I 理解			
履修条件			
・ 数学 I を履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	G	0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	×	×	③⑬
<p>【紹介】 講座レベルは<☆☆☆☆>です。※数学 I のレベルは<★★☆☆> 数学 I の基礎内容について学習し、高校数学の基礎を固める科目です。 本講座の目標は、数学 I の基礎的な知識・技能を高め、発展問題を理解することです。</p> <p>基本問題の演習を中心に、計算力等のレベルアップを目指し、発展問題の演習もします。 数学 A を理解したい生徒、学び直したい生徒におすすめです。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・ 特になし。</p>			

科目名			
数学 A 理解			
履修条件			
・ 数学 A を履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	C, A2	0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	×	×	③⑪
<p>【紹介】 講座レベルは<☆☆☆☆>です。※数学 A のレベルは<★★☆☆> 数学 A の基礎内容について学習し、高校数学の基礎を固める科目です。 本講座の目標は、数学 A の基礎的な知識・技能を高め、発展問題を理解することです。</p> <p>基本問題の演習を中心に、計算力等のレベルアップを目指し、発展問題の演習もします。 数学 A を理解したい生徒、学び直したい生徒におすすめです。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・ 特になし。</p>			

数学

科目名			
数学Ⅲ			
履修条件			
・数学Ⅱ、数学Bを履修していること。（3年次に数学Ⅲと数学Bの同時履修は可能）			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
4	3	D, E	0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	×	×	①
<p>【紹介】 関数、極限、微分法、積分法について学びます。 数学Ⅰ、数学Ⅱを基礎とする内容です。どの単元でもかなりの計算力を必要とします。 微分法、積分法では三角関数（sin、cos、tan）、指数関数、対数関数を微分、積分します。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・数学ⅠAⅡBの内容を理解している前提で授業をします。 ・内容の特性上、数学Cと同時に履修することを強く勧めます。</p>			

科目名			
数学C			
履修条件			
・数学Ⅱを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	H	0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	×	×	①
<p>【紹介】 ベクトル、平面上の曲線と複素数平面、数学的な表現の工夫について学びます。 高校数学の最高峰となる科目です。大きさや向きについて深く考えるベクトルや複素数平面という新たな平面など新しい概念について粘り強く考える力を必要とします。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・数学ⅠAⅡの内容を理解している前提で授業をします。</p>			

数学

科目名			
数学発展			
履修条件			
・数学Ⅱ、数学Bを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	F	0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	×	×	①
【紹介】 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bで学んだことについて、発展的な問題演習が中心です。理系大学進学への基盤となる科目です。			
【履修上の注意】 ・数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bで使用した教科書、問題集をそのまま使用します。なくさず ずに持っておいてください。 ・数学ⅠAⅡBの内容を理解している前提で授業をします。 ・内容の特性上、数学Cと同時に履修することを強く勧めます。			

科目名			
実用数学			
履修条件			
・数学Ⅰ、数学Aを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	B, A2, H	0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	×	×	⑬
【紹介】 講座レベルは<★★★☆☆>です。※数学ⅠAのレベルは<★★☆☆☆> 就職試験（筆記試験）に向けた問題演習が中心です。			
【履修上の注意】 ・就職試験に向けた損益算や濃度・速さの問題などのテクニックを要する文章題を扱います。 ・SPIを意識した問題演習も行います。			